

月刊 河井克行



さあ、進もう未来へ。



平成29年

盛夏
号

フィリピン共和国ロドリゴ・ドゥテルテ大統領が海上自衛隊最大の護衛艦「いずも」を訪問。河井克行内閣総理大臣補佐官は大統領を艦内に案内しました（6月4日・ルソン島スービック湾）

7月・8月合併号

第25次ワシントンD.C.出張

～北朝鮮の弾道ミサイル発射を受けて安倍総理大臣メッセージを伝達～

河井克行内閣総理大臣補佐官は、北朝鮮が弾道ミサイルを発射した翌日の5月15日（月）から18日（木）まで、ワシントンD.C.を訪れました。北朝鮮の脅威、韓国新政権の発足、中国の動向などについてトランプ政権関係者・連邦議会委員長・シンクタンク所長らと認識を共有に努めました。

北ミサイル協議で
首相補佐官訪米へ

安倍首相は、北朝鮮による十四日の弾道ミサイル発射を受け、河井克行首相補佐官に訪米してトランプ政権関係者と今後の日米連携について意見を交換するよう指示した。河井氏が十五日午前、官邸で記者団に明らかにした。稲田朋美防衛相は十五日、韓国の韓民求国防相と電話会談し、日米韓で緊密に協力して対応する方針で一致した。

河井氏は十五日に出発し十九日に帰国する。北朝鮮に対する圧力強化に関しても協議。米議会上下両院の幹部とも会談する予定だ。

稲田氏は電話会談で「地域と国際社会の平和と安全を損なう重大な挑発行為だ。断じて認められない」と強調。韓国の文在寅新政権と協力を強化したい考えを伝えた。韓氏は「日本を含む国際社会と緊密に協力したい」と応じた。

『東京新聞』5月15日付夕刊



河井克行補佐官、北朝鮮関係者との写真。河井氏は中央に立ち、左右に他の男性が立っている。背景には壁掛けの絵や花瓶が見える。



トランプ政権に近いトム・コットン上院軍事委員航空陸上小委員長と会談。河井氏は右側に立ち、トム・コットン氏は左側に立ち、会話している。

「米国は対北でジレンマ」

安倍首相の外交担当補佐官である河井克行氏。五月一日、第二次安倍内閣、25回目となるワシントン訪問から帰国した。今回は安倍首相のメッセージを伝達して、米連邦を中心に米議会の要人、シンクタンクの幹部ら十数人と会談した。渡米前に、安倍首相から渡されたメッセージは次の通りだった。



「北朝鮮の新型ミサイル発射を受けて、今、北朝鮮と対話をする余地はない」とが明確になった。今は圧力を強めるとである。まずすべての選択肢がテーブルの上に乗っている。トランプ大統領は、トランプ大統領の言葉と実際の行動が一致している」と高く評価する。北朝鮮に対しては、「行動対行動の原則」が大前提である。

「対北朝鮮政策についてジレンマを抱えている。無条件ならば『核・ミサイル開発』が進む。米が行っても含めて圧力をかけ過ぎると金正恩（キム・ジョンウン）体制が崩れ内戦が起き、核・ミサイルの開発、さらに世界への拡散が起きかねない。中国に難民が押し寄せる。中国の習近平国家主席は、正恩体制の崩壊を望んでいない。」

「話をしても意味はない。一方、中国の北朝鮮に対する圧力については低い評価だった。中国の圧力は十分だが、効果が乏しい。北朝鮮の変化に結びついていない。」

韓国で文在寅（ヘン・シヤイン）大統領が誕生したことに反発が暗かかった。

「『南北』の文を連出する態度は、議論に不信感を持っている。北朝鮮からの脅威を減らしていないのか。」と河井氏が言った。

「北京で開かれた『一帯一路』国際フォーラムの初日に北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、習氏が面三を失った。北朝鮮が騒ぐことで、中国の価値が高まり、国益を米国から奪っている可能性がある。」と政治評論家。

『夕刊フジ』5月25日付

河井克行氏、25回目の訪米から帰国

河井克行氏は、25回目の訪米から帰国した。今回の訪問は、北朝鮮の脅威、韓国新政権の発足、中国の動向などについてトランプ政権関係者・連邦議会委員長・シンクタンク所長らと認識を共有に努めた。



鈴木棟一の風雲永田町 5608

「北朝鮮の正恩朝鮮労働委員長の方が、習氏の上位に立っている。北朝鮮はすべてを見透かして対応、ナメかっている。」

米国と北朝鮮との直接対話について、人によって見方が異なっていたが、「次の点で一致した」という。



共和党の重鎮であるジョン・マケイン上院軍事委員長と会談
『TBSニュース』5月17日



上院外交委員会公聴会で証言を終えた次期駐日大使ビル・ハガティ氏と言葉を交わす。河井克行総理補佐官はハガティ氏と親交を深めてきました(5月18日)



マイク・ロジャース下院軍事委員会ミサイル防衛小委員長と再会(5月17日)



トランプ政権移行チーム幹部のチェイニー元副大統領次席補佐官マチャダ氏と朝食会(5月18日)



ペンス副大統領のアドバイザーであるハドソン研究所ワインシュタイン所長(5月16日)



CNAS(新アメリカ安全保障センター)のフォンテイン所長とクローニン上級顧問(5月15日)



ブルッキングズ研究所のタルボット所長とブッシュ北東アジア政策研究所長(5月17日)



朝鮮半島六者会合の米国代表だったデトラニ大使(5月16日)

シンガポール共和国・第4次フィリピン共和国出張

～ドゥテルテ大統領を海上自衛隊最大の護衛艦「いずも」に案内～

安倍晋三内閣総理大臣の指示により、河井克行内閣総理大臣補佐官はドゥテルテ大統領を一時間半以上にわたり司令部区画と医療区画を案内し、艦内で会談も行いました。外国の国家元首が「いずも」に乗艦したのは、ドゥテルテ大統領が初めてです。大統領は、南部ミンダナオ島での戒厳令布告の多忙な中を遠路駆けつけていただきました。

河井克行総理補佐官がドゥテルテ大統領と会談するのは、当選直後ダバオで安倍晋三内閣総理大臣の親書を手渡して以来、今回で六回目。出迎えた河井克行総理補佐官を見るなり、大統領は笑顔で「my friend, my friend」と数回声をかけ、親密ぶりを表していました。大統領の「いずも」乗艦は、安倍総理との信頼関係や日比の連携を象徴するだけでなく、日米同盟やインド太平洋地域に対しても戦略的な意義をもちます。

フィリピンの前に訪れたシンガポールで河井克行総理補佐官は、アジア安全保障会議（シャングリラ・ダイアログ）に初参加。会議の合間を縫い、ハリー・ハリス米国太平洋軍司令官、インドネシア共和国リャミザルド国防大臣らと地域情勢について意見交換を行いました。

比に寄港の「いずも」ドゥテルテ氏が視察
「バンコク＝浜砂雅一」
フィリピンのドゥテルテ大統領は4日、同国の首都マニラ近郊のスービック港に寄港した海上自衛隊で最大級の護衛艦「いずも」を視察した。地元メディアによると、ドゥテルテ氏は、同国訪問中の河井克行首相補

佐官らの案内で飛行甲板などを見て回り、「人道支援や災害対応で大きな助けになるだろう」と感想を述べたという。ドゥテルテ氏は今月上旬の訪日を予定していたが、南部ミンダナオ島のイスラム過激派と国軍の戦闘激化を受けて取りやめた。今回の視察で、対日関係を重視する姿勢に変わりが無いことを示す狙いがあったとみられる。

「読売新聞」6月5日付



「NHKニュース」6月4日

ドゥテルテ氏と会談へ
河井首相補佐官は27日、ドゥテルテ大統領を訪問する。フィリピンではドゥテルテ大統領と会談し、北朝鮮問題について意見交換する。ドゥテルテ氏が進める南部ミンダナオ島でのイスラム系反政府勢力の掃討作戦を支持し、早期の収束を期待する安倍晋三首相のメッセージも伝える。

「日本経済新聞」6月3日付



ドゥテルテ大統領を出迎える河井克行総理補佐官



飛行甲板に上がるエレベータで



大統領を歓迎する女性自衛官たちと



ハリー・ハリス米国太平洋軍司令官と再会



インドネシア共和国リャミザルド国防大臣



会議で隣り合わせたクリントン政権時の国防長官ウィリアム・コエン氏

ゆめづくりフォーラム in TOKYO Part 19 が開催

5月31日（水）、毎年恒例の「ゆめづくりフォーラム in Tokyo」が都内で開催され、党派を超えた国会議員の先輩・同僚が河井克行代議士の激励に駆けつけていただきました。



今回も菅義偉・内閣官房長官が講演



開会の挨拶は、総理大臣有識者会議「日本の美」総合プロジェクト懇談会座長でもある俳優・演出家の津川雅彦さん



鈴木宗男・新党大地代表（元北海道・沖縄開発庁長官）



原口一博・民進党常任幹事会議長（元総務大臣）



下地幹郎・日本維新の会政務調査会長（元防災担当・郵政民営化担当大臣）

国土交通省砂防事業費・林野庁治山事業費 平成29年度62億円余確保

「平成二十六年 8.20. 豪雨災害」からの復旧を進める国土交通省「直轄特定緊急砂防事業」として27億5000万円を平成29年度政府予算で確保しました。緑井・八木、山本、可部東、大林の28溪流で砂防施設の整備を行います。今年度の新規事業としては、緑井八丁目296溪流（神楽田1号砂防堰堤）、可部東六丁目1156溪流（東山砂防堰堤）、大林四丁目5312溪流（陰地谷砂防堰堤）、大林三丁目580溪流（下の谷川2号堰堤）の4か所です。また、広島県への「補助特定緊急砂防事業」として、可部東六丁目根の谷川支川99に5000万円を確保。

さらに、「平成十一年 6.29. 豪雨災害」を契機として進められている「広島西部山系直轄砂防事業」には29億500万円が確保されました。今年度は、安佐南区の山本、大町、緑井・八木、安佐北区の上原、城北、あさひが丘、飯室上畠で事業を実施。大町地区は今年度で完成予定です。

また、林野庁による「8.20. 豪雨災害」復旧対策は、可部・高松山国有林「地域防災対策総合治山事業（直轄）」に1億9500万円、「復旧治山事業（直轄）」安佐南区長東西三滝寺上流に2000万円、「緊急復旧治山事業（補助）」として安佐北区大林高谷地区・高松山周辺東山地区・桐原大珍地区、安芸高田市向原町虫居谷山地区、安芸太田町上田吹西平地区に合わせて2億9000万円を確保しました。

ひろしま せいふ ざんけい

広島西部山系直轄特定緊急砂防事業

河-25

事業費2,750百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

平成26年8月豪雨においては、広島市安佐南区から安佐北区にかけて、土砂災害による甚大な被害が発生しました。この災害により被害を受けた地域の溪流は荒廃が進んでおり、今後の降雨により土砂災害の危険性が高くなっているため、早急な対策が必要です。

土砂災害による被害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全するため、砂防堰堤等を集中的に整備します。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区
広島県広島市安佐南区



3. 平成29年度 予定事業内容

緑井・八木、山本、可部東、大林地区において、砂防施設の整備等を実施します。



4. 期待される整備効果

平成26年8月豪雨により甚大な被害を受けた溪流において、集中的に砂防堰堤等の整備をおこなうことにより、再度災害の発生を防止し、土石流から人命や資産等を保全します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

広島西部山系は広島県の西部に位置する広島市、廿日市市、大竹市の3市にまたがる地域で、平成11年の広島豪雨災害を契機に平成13年度より直轄砂防事業に着手しており、直轄砂防事業区域において土砂災害から人命や資産及び主要交通網(山陽自動車道、山陽新幹線等)などを保全するために砂防堰堤等の整備を推進します。

2. 事業箇所

ひろしま はつかいち おおたけ
広島県広島市、廿日市市、大竹市

3. 平成29年度 予定事業内容

おがた みどりい・やま
あさひが丘地区、小方地区、緑井・八木地区など
12地区で調査測量・設計及び砂防施設の整備等
を実施します。



4. 期待される整備効果

土石流が発生する危険性のある溪流の下流に人家や要配慮者利用施設等が位置している地区や、平成26年8月豪雨により被害を受けた地域周辺において、「砂防堰堤等の整備」などを推進することにより、土石流から人命や資産等を保全し、安全・安心な地域づくりが図られます。

平成29年度河川予算13億円余確保

太田川水系

☆平成十七年九月洪水と平成二十二年七月洪水で浸水被害が出た安佐北区口田地先の矢口川で排水機場を増設するなどの内水対策事業を推進してきましたが、今年度で事業完了します。今年度の事業費は5億4400万円です。

☆安佐北区寺山地先（可部三丁目、可部東五丁目）の根谷川の治水安全度の向上を図るため、堤防整備などを推進します。今年度の事業費は4億800万円です。

☆JR可部線の新駅「あき亀山駅」が開業し、安佐市民病院の移転が計画される安佐北区亀山地先（亀山南一丁目～可部一丁目）で治水対策を五年間で重点的に推進します。今年度の事業費は2億8200万円です。

☆安佐北区深川地先の奥迫川水門の運転支援システム構築を行います。今年度の事業費は約2600万円です。

江の川水系

☆安芸高田市甲田町甲立の五龍橋たもとに河川を利用した環境学習を行う場として“水辺の楽校”の整備を行います。事業費は3000万円で、今年度中に完成します。

☆安芸高田市吉田町福原ほか10カ所の排水樋門の手摺りの嵩上げを行います。今年度の事業費は約4700万円です。

太田川流域治水整備事業 (矢口川総合内水緊急対策事業)

事業費544百万円

河-22

事業完了

1. 事業の必要性及び概要

太田川支川矢口川は流域面積5.2km²の一般河川で、その下流部は昭和40年代以降に宅地化が進み、平成17年、平成22年と立て続けに内水による家屋浸水被害が発生しています。このため、平成24年7月に、国・県・市・地域が協働で内水対策を行う「矢口川総合内水対策計画」を策定しており、排水機場の増設(4m³/s→12m³/s)を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

広島県広島市安佐北区口田地先



3. 平成28年度 予定事業内容

太田川口田地先において、排水ポンプ設備の製作・設置等を実施します。



4. 期待される整備効果

矢口川における内水対策の計画規模である年起送確率1/10規模の洪水が発生した場合においても、床上浸水被害の防止が図られます。
なお、排水機場等の整備により、近年浸水被害が生じた平成17年9月洪水、平成22年7月洪水と同程度の事象が発生した場合においては浸水被害が解消します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

広島市安佐北区亀山地区では、平成29年3月にJR可部線の延伸による新駅『あき亀山駅』が開業するとともに、広島市北部地域の唯一の災害拠点病院である安佐市民病院の移転(平成34年開業予定)が計画されています。

一方で、当該地区は戦後最大洪水である平成17年9月洪水において浸水被害が発生していることから、緊急対策特定区間として地域のプロジェクトと一体となった治水対策を重点的に実施するものです。

2. 事業箇所

ひろしま あさきた かめやま
広島県広島市安佐北区亀山地先



3. 平成29年度 予定事業内容

おおたがわ かめやま
太田川亀山地区において、築堤護岸、用地捕償等を実施します。



4. 期待される整備効果

まちづくりと一体となって河川整備を行うことにより良好な水辺空間の整備が行えるとともに、洪水被害の軽減により地域全体の発展が期待されます。

平成29年度道路予算29億円余確保

安佐南区

☆山陽自動車道沼田PAスマートICは、平成26年度に事業着手し、来年3月末までに開通予定です。事業費は約20億6000万円です。

工事状況 (H29.7.11)



軽量盛土工(上り線)



補強土壁工(上り線)



補強土壁工(下り線)



切土工(下り線)

安佐北区

☆国道54号可部バイパス4車線拡幅工事を推進しています。今年度は、JR可部線跨線橋にて実施し、事業費は2億9000万円です。

安芸高田市

☆国道54号で歩道整備事業と交差点改良事業を推進します。今年度の事業費は、吉田町山手～吉田に1億4700万円、吉田工業団地入口に600万円です。

☆山陽自動車道高屋ICと中国自動車道を結ぶ地域高規格道路「東広島高田道路」の一部をなす「向原吉田道路」を推進します。今年度は、正力IC～向原吉田トンネル、江の川大橋、江の川大橋～吉田ICの工事を実施し、事業費は3億8000万円です。

☆下入江地区市道の改良工事等に地方創生関連交付金として1300万円を確保しました。

北広島町

☆都志見阿坂地区町道の改良工事等に地方創生関連交付金として3200万円を確保しました。

ふるさとづくり実践活動 in 北海道十勝地方・島根県隠岐の島

安倍総理大臣から“ふるさとづくりの推進”も命じられている河井克行内閣総理大臣補佐官は、6月13日（火）～14日（水）、北海道帯広市と大樹町を、7月12日（水）～13日（木）、島根県隠岐の島町、海士町、西ノ島町を訪れました。全国から選りすぐったふるさとづくり・地域づくりの専門家とふるさとづくりを実践している地元の皆さまを交えたパネル・ディスカッションを開催するかたわら、特長ある地域資源を視察しました。

帯広市では、全国一の長いも産地・川西農協と、四十数年ぶりに乗降客数増加を実現した十勝バスを訪問。大樹町では、JAXA（宇宙航空研究開発機構）大樹航空宇宙実験場と堀江貴文氏が創業者の一人である小型ロケット製造会社・インターステラテクノロジズを視察しました。

隠岐の島町では、世界的に貴重なジオパークを展示説明する隠岐自然館と、愛の橋商店街を見学。海士町では、廃校検討対象だった県立高校が今では日本中から生徒が集まる隠岐國学習センタなどを視察しました。

帯広市



大樹町



隠岐の島町



海士町



みつやかい
各地区で広がる後援会「三矢会」の活動



安東・馬場眼科にて国政報告会（5月26日）



安芸太田町「三矢会」青年部懇親会（6月9日）



「三矢会」伴・大塚支部役員会と国政報告会（6月11日）



高陽地域「三矢会」連絡協議会（6月11日）



安佐南区「三矢会」支部長月例座談会（6月17日）



「三矢会」川内支部発足式・国政報告会（6月17日）



「三矢会」原南支部役員懇親会（7月7日）



北広島町「三矢会」連合会役員懇親会（7月8日）

みなさまとのふれあいが河井克行の力になります



健康まつり in 伴東 (5月21日)



大町学区町民運動会 (5月21日)



大塚学区社会福祉協議会総会後の懇親会 (5月27日)



「咲かせよう絆花壇」に参加。8.20. 豪雨災害被災地・八敷町内会の皆さまが、二千鉢のマリーゴールドを宇那木神社下に植えました (7月1日)



あさひが丘連合自治会総会懇親会 (5月19日)



高陽公民館まつり (5月20日)



狩留家なす収穫祭 (6月17日)



保塚ほたる・かじかまつり (6月10日)



安芸高田市消防団消防操法大会 (6月18日)



新庄夜市 (7月8日)



原東花田植えて早乙女さんたちと (5月21日)



堀八幡神社夏祭り「茅の輪」の前で森脇宮司と (6月11日)



広島県建設労働組合結成 60 年記念式典
祝賀会 (7月1日)



広島市身体障害者福祉大会 (7月9日)



隊友会中国ブロック意見交換会
(7月9日)

今年も「安の花田植え」に“苗持ち”で参加しました

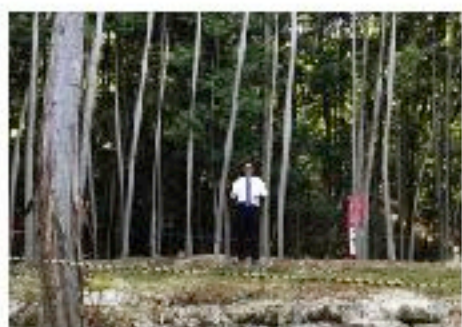
再現されて十二回目の「安の花田植え」は6月11日(日)、近年続いた安東から安北の田に移動して行われました。大朝と芸北の飾り牛による熱のこもった代掻きに柄振り。新しい人たちが毎年加わる早乙女さんたち。伝統を復活した昔ながらの節回しの田植え唄。練習を重ねた太鼓。

“苗持ち”は、泥に足を取られてひっくり返りそうになるのを踏ん張り、早乙女さんの気持ちを先読みして苗を渡す役です。どんなに忙しくても、仲間と共に田に入るひとときは河井克行代議士にとってかけがえのないものです。



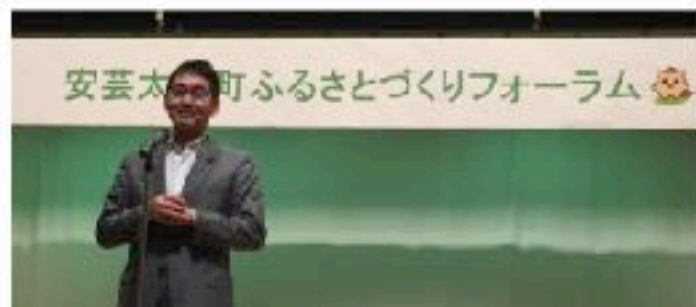
国の史跡に指定された「甲立古墳」に登る

6月18日(日)、河井克行代議士は、国の史跡に昨年指定された「甲立古墳」を浜田一義・安芸高田市長の案内で登りました。“空白の四世紀”に造られた未盗掘の前方後円墳として、学術的な価値が極めて高い文化財です。約1600年間も発見されなかった“謎の古墳”です。実は河井克行代議士は、弥生時代と古墳時代を繋ぐ「空白の四世紀」に強い関心を抱き、大学の国史学科に進学を希望していたほどの日本史ファン。国が甲立古墳の保護と活用に厚い支援を行うよう、河井克行代議士は全力で動きかけます。



安芸太田町「ふるさとづくりフォーラム」が開催

7月11日（火）、全国から選りすぐりの内閣官房「ふるさとづくり実践活動チーム」委員の有志三名が安芸太田町に入り、ぶらっとホームつなみ、つなみ和の里生産組合、井仁の棚田、道の駅来夢とごうち、三段峡、加計吉水園など豊かな地域資源を視察したうえで、地元で活動する方々との討論会に参加しました。少子高齢化・過疎化に悩む安芸太田町で新たな地域づくりが始まる胎動を強く感じる、希望に溢れたフォーラムでした。



河井克行代議士は専門家ご一行に歓迎の言葉を述べました



井仁の棚田



三段峡視察



ぶらっとホームつなみ

国内でも積極的な外交を推進



ブータン王国ジゲル・ヴギェン・ワンチュク王弟殿下を都内ホテルに表敬（4月11日）



葛西敬之「JR東海代表取締役名誉会長が座長を務める「日米印三極会議」が東京で開催。アーミテージ氏やインドの B.J. パンダ下院議員らと昼食会（5月24日）



トランプ・オーガナイゼーションの顧問弁護士を長年務める村瀬悟氏からはトランプ政権に関する貴重な情報をしばしば教えていただいています（5月25日）



ギニア共和国アルファ・コンディ大統領が安倍総理と首脳会談。自衛隊の栄誉礼・儀仗に同席（6月20日）

首相官邸総理補佐官室に来訪



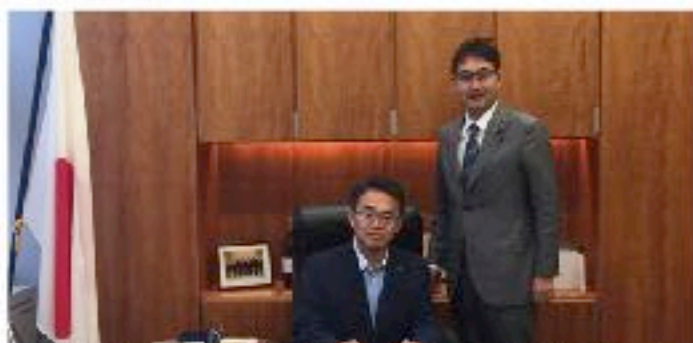
河野信義・広島市農業委員会会長をはじめ県内の市・町農業委員会
会長ご一行 (5月30日)



熱血漢経営者として知られる山本明弘・広島市信用組合理事長
(5月23日)



迫広世夫・広島県西部砕石協同組合代表理事ら (5月26日)



平成八年衆議院初当選“同期の桜”である大村秀章・愛知県知
事 (6月15日)



北広島町商工会青年部有志ご一行 (6月20日)



奈良俊幸・福井県越前市長ら松下政経塾同期生 (7月14日)



自民党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

内閣総理大臣官邸

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-3-1
TEL: 03-3581-0101(代表) 03-3568-8924(直通)

国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208号室
TEL: 03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX: 03-3508-3948

広島事務所

〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL: 082-832-7301 FAX: 082-878-3301

facebook

河井克行公式フェイスブック更新中

「いいわ!」を押して最新活動報告をチェック!
www.facebook.com/kawakatsuyuki